

既存道路空間の有効活用による渋滞緩和

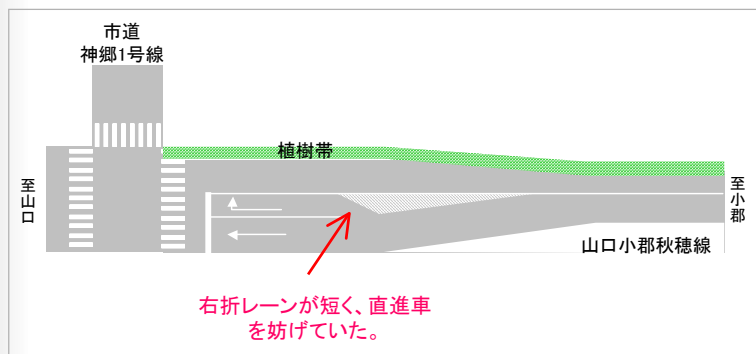
対策事業

県道 61 山口

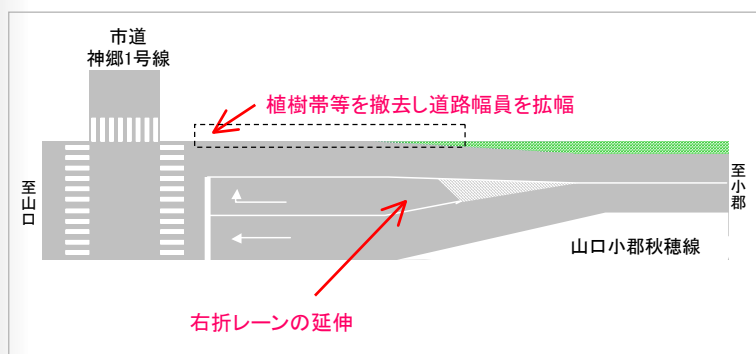
山口小郡秋穂線

県道山口小郡秋穂線の上り線大内方面への右折交通量は沿道土地利用の増進や関連道路の開通などにより増加傾向でした。しかし右折滞留時間が短く、右折車が直進車を妨げていたため大きな渋滞が発生していました。

そこで、植樹帯の撤去など既存の道路幅員の中で見直しを図り、右折滞留時間を約120mへ延伸するとともに、信号の現示最適化などを実施することで渋滞緩和を実現しました。



整備前の道路平面図イメージ・写真



整備後の道路平面図イメージ・写真

■ 渋滞が緩和され住民の方も効果を実感しています。

対策実施により、朝夕の通勤時間帯における渋滞が緩和されました。住民の方も効果を実感しています。

右折レーンが伸びたため、直進レーンに右折車が入り込まなくなり、朝夕の通勤時間帯の混雑が、大幅に緩和されました。また、右折レーン延長と同時に排水性の舗装がされ、視認性と走行性が大幅に改善されました。(公務員)



取組み概要

整備効果

TOPICS 台風14号による被害

台風14号の概要

平成17年9月6日～7日にかけて九州を北上した台風14号は、山口県岩国地区、広島廿日市等の観測所で日雨量が、300mmを超えるなど各地に大雨をもたらし、13観測所で観測開始以来の最大値を更新しました。

主な被害

台風14号による豪雨の影響で、中国地方の各地の道路で土砂流出等が発生しました。これらの被害により、山口県内14箇所において通行止めが発生し、中でも主要幹線道路における全面通行止めにより岩国地域の東西を結ぶ主要ネットワークが遮断されました。この被害に伴い周辺道路で大きな渋滞が発生しました。

全面通行止め区間	通行止め期間
山陽自動車道〔岩国IC～玖珂IC〕	9/6～12/1
一般国道2号全面通行止め	9/6～9/14
欽明路道路全面通行止め	9/6～9/7

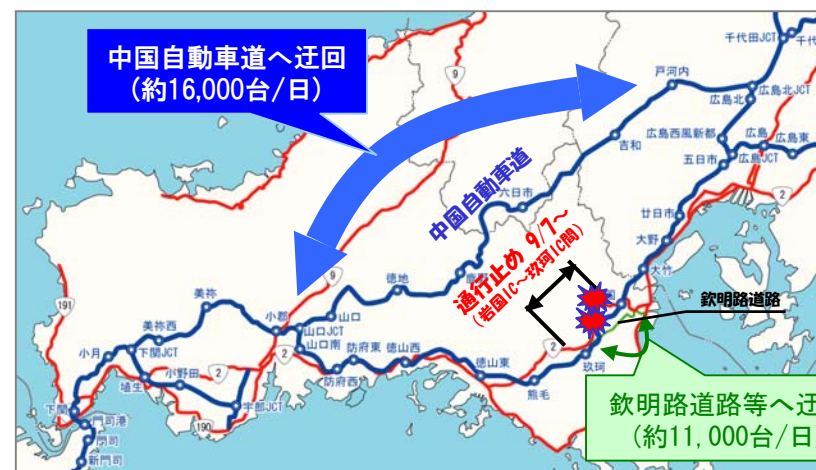
被災による交通に関する損失

迂回・渋滞に伴う経済損失は災害復旧費を除いて約11億円と試算されました。(9/7～9/13の1週間分で計上)

迂回・渋滞の損失費用(億円)	
■ 中国自動車道へ迂回した交通の損失額	3億円
■ 欽明路道路など(一般道路)へ迂回した交通の損失額及び迂回交通による市内の渋滞損失額	8億円
損失額(推計)	11億円

道路ネットワークの重要性

国道2号や山陽自動車道は東西を結ぶ主要幹線道路です。これらの通行止めに対し中国自動車道や欽明路道路等の道路ネットワークが迂回ルートの役割を果たし社会・経済への被害を極力抑えることができました。このように、災害発生時においてもリダンダンシーが高い道路ネットワークの整備を進めていきます。



通行止めに伴う迂回状況

平成17年9月の台風14号による主な被災箇所



護岸流出の状況
国道2号(岩国市瓦谷)



盛土崩壊の状況
山陽自動車道(岩国IC～玖珂IC)

地域の自活を支えるみちづくり